

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年7月12日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

年金とくらし守れ！

年金者組合 安倍首相へ直訴 請願運動開始



年金生活者のくらしは、年金の連続引き下げ、消費税増税、物価高、保険料の値上げなどで、ますます大変になっています。

昨年、年金者組合が提起した「不服審査請求」は、道内でも6888人が請求しました。しかし、却下決定を受けて、再審査請求の取り組みも広がっています。

北海道の再審査請求は

5,078人 (7/9 現在)

(審査請求者の73.7%)

年金者組合は、新たに「年金とくらし守れ 20万請願大運動」を提起しました。これを受け、年金者組合道本部では、1万以上の目標を掲げ、地域の人々や団体への呼びかけをはじめ

ています。今回は、年金生活者以外のすべての人が請願できます。

7月18日(金) 18時～
安心年金つくろう会 学習会・
「20万人請願大運動の成功のために」など
北海道高教組センター会議室

8月15日の年金支給日行動も取り組みましょう。札幌中心街でも12時15分から行います。

えっ！ 精神科病棟が居住施設に？

全国緊急反対集会に3200名参加 障害者の地域生活を保障する「権利条約」に逆行

厚生労働省は、精神科に長期入院する患者の地域移行のための検討会を立ち上げました。しかし、7月1日、精神科の病棟を転換して、その病棟に精神障害者の居住施設系を作る事を、最終報告書に盛り込みました。今年1月、国は国連の障害者権利条約を批准しましたが、障害者の地域生活を保障するどころか、精神障害者を終生病院に囲い込もうとしています。

最終報告が出る前の6月26日、東京で「転換型居住系施設」に反対する緊急集会が行われました。北海道からも団体の代表が参加しました。土屋晴治さんからの報告です。



障害者だって、人としての幸福を願っています

障害者だって人としての幸福を願うのは当たり前のことです。ところが検討会では、病棟で死ぬより自分の部屋で死ぬほうがましだと言います。しかし、精神病を一度発病したからといって、生涯病棟に閉じ込めてそれが良いとするなど、絶対に許すことができません。

6月26日には、東京の日比谷野外音楽堂で「転換型居住系施設」に反対する緊急集会があり、全国から3200名が参加しました。皆の力をあわせて精神障害者の尊厳を踏みにじろうとする、国のあり方を改めさせ、障害があっても、地域で普通に暮らす事を望む多くの人たちと手を取り合っていけたらいいと思います。



8月30日(土) 障道協が「障害者権利条約」などの学習会

講師 白沢 仁さん(障全協事務局長)

13:30~16:30 札幌市身体障害者福祉センター 3階大会議室